

全国革新懇の3つの共同目標

- ① 日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします
- ② 日本国憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本を目指します
- ③ 日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本を目指します

2018.10.2

号外



ほんざ〜い!



## 沖縄知事選挙

# 玉城デニーさん大勝利!

## 相手候補に8万票差

137名の寄せ書き

11万円を超えるカンパ



辺野古新基地の是非が最大争点となった沖縄知事選挙が9月30日に行われ、翁長知事の遺志を受け継いだ「オール沖縄」の玉城デニー氏が、自民・公明・維新・希望推薦の前宜野湾市長佐喜真敦氏を大差で破り勝利しました。

京北革新懇は、皆さまのご協力で137名の寄せ書きと11万円を超えるカンパを頂き、2名の代表を選挙支援に送り出して、沖縄県統一選挙事務所に届けることができました。本当にありがとうございました。このような嬉しい結果になって皆さまにご報告できることは望外の喜びです。

これからも皆様と一緒に、平和憲法を守り民主主義を守るため力の限り頑張っていきたいと思えます。今後ともよろしくお願ひ致します。



※裏面に選挙支援に行かれた代表お二人の感想文を載せています。ご覧ください。



裏面へ

## 沖縄知事選挙支援に参加して

今年7月に結成された京北革新懇で、沖縄知事選挙勝利に向けて檄文への寄せ書きとカンパの取り組み、そして代表2名を沖縄へ派遣することが決められました。

私はその代表の1人として参加しました。短期間での準備になりましたが、格安航空券の取得はネットで確保しました。

9月19日～21日までの3日間の支援行動で、台風21号の高波被害により使えない関空のA滑走路を尻目に、私たちはB滑走路より沖縄へ2時間弱の空の旅。那覇空港に到着後、沖縄県統一選挙事務所を訪問し、「京都市の北部・京北から来ました。」と伝え137名の皆さんからの寄せ書きとカンパを、瀬長和男事務局長に手渡しました。

到着するなり沖縄は30度を超える連日の猛暑。沖縄の選挙は本土とは少し違うと聞いてはいたが、公示日は済んでいるのに候補者カー以外の宣伝カーが走っている。

ハンドマイクで訴え、玉城デニー候補ののぼり旗がはためく、沖縄の苦難の歴史を象徴するかの様な選挙戦が展開されていました。

私たちは連日プラスター、のぼり旗、ハンドマイクを持ってのスタンディングに参加しましたが、「玉城デニー」ののぼり旗を持って流れている車の運転手の顔を覗き込むように手を振ると。大きく手を振ってくれる人、タクシーの運転手もハンドルを握った手で合図する、バスの運転手も体で表現するなど、なかなか手応えがありました。

私も京都市内で幾度か選挙の経験はありますが、それとは違った自分の力の入り方に驚いてしまいました。

大野一美



## 沖縄知事選支援活動感想

9月19日～21日の3日間、知事選挙真っ只中の沖縄県に行ってきました。

翁長雄志知事の遺志を継ぎ、普天間基地の閉鎖と返還、辺野古の新基地は造らせず、平和で豊かな誇りある沖縄をと訴える玉城デニー候補に対して、新基地建設を推進する自民安倍政権、公明、維新勢力に担がれた佐喜真敦候補との事実上一騎打ちの選挙戦です。

政府の権力をすべて行使し、組織を動員して民意を押しつぶし、沖縄県民の心に寄り添おうとしない相手候補に負けるわけにはいきません。

皆さんから預かった「檄」の寄せ書きと選挙カンパをもって、沖縄県統一選挙事務所へ激励に行きました。沖縄と日本の命運がかかっている大事な選挙です。

30℃を超える暑さの中、朝から夕方までスタンディングやピラ配りなどの宣伝活動を中心に行動しました。そして、未来にきれいな海を残し、安全な空を子どもたちのために取り戻す強い思いをいっそう新たにして沖縄から帰ってきました。

寄せ書き、カンパをお寄せいただいた皆さま、ありがとうございました。

藤田幹男

## 京都革新懇活動交流会

〈9月29日午後1時半〜〉

京都革新懇活動交流会が開催され、京北からは事務局の2名（藤田・大野）が参加しました。

弁護士の小笠原伸児さんから、「憲法9条を守る3000万署名」の大切さの講演や各地域からの活動報告があり、京北も沖縄知事選への支援を中心に、この間の活動報告をして、参加者の賛同と感動を呼びました。